

特集

子育て支援 対談 P.1~P.4

## 親と子、そして 社会をつなげる子育て支援

### ●いしかわの NPO

NPO 法人 趣都金澤 P.5

NPO 法人 環境浄化微生物研究所 P.5

●ちょっと気になる、いしかわの NPO P.7

『音楽のちからで店を楽しく、街を楽しく!!』

七尾音泉感動協会

●ジュニア VOICE 七尾東雲高等学校

シリーズ NPO 会議術① P.8

『何のための会議なの?』

●いしかわの NPO バックナンバー P.6

●書籍紹介コーナー P.6

●インフォメーション P.9~P.10

つな  
がる、  
ひろ  
がる、  
ふれ  
あう。

## 親と子、そして社会をつなげる子育て支援。 ～心のつながりを大切に～

当たり前のようなことですが、大切です。  
身近すぎて普段は見落とすこともあります、  
他人の問題ではありません。  
社会全体が関わる話です。  
それは「子どもを育てる」こと。  
子どもたちは世界の宝物。  
今あらためて見つめてみましょう。  
つながっています。  
私達自身に。  
ひろがっています。  
この地球に。  
だからもっと、ふれあう。  
そして、わかちあう。



子どもたちを取り巻く環境も今は多様化しています。子育ても昔のようにはいかない中で、一生懸命頑張るお母さんたち。そんなお母さんと子どもたちを応援する子育て支援 NPOの代表として活動されている橘 薫さん、河原 廣子さんに、現在の子育て環境やこれからの活動について語っていただきました。

### 一人の問題はみんなの問題

橘 ● 私達の間では『仲間』という意味の、『ピア』というキーワードをよく使います。ピアサポート、ピアカウンセリングと言ったりします。専門じゃなくても同じ体験をした人や気持ちがわかる人が近くにいるだけでいいことが多いのです。相談があつたら自分だけでなく、その一番近い人につなげています。一見、手間隙かかるようだけど全てが予防につながっています。長い目で見ると、今ピアサポートをすることが後に生きてくると思います。

河原 ● 今は小学生に対しての支援が求められています。悩んでいるお母さんが多いように思います。核家族が多い中で、一面的にしか子どもを捉えられていない親もいます。そういうお母さん、お父さんが学び合える場所が必要だと思います。学童保育の父母会などはとても重要です。

橘 ● 学童保育へ預けっぱなしだと、いろんな問題ができてきます。小学生はケンカひとつにしても複雑な問題が起きる時期です。昔からの学童保育は親が必ず関わって、定期的に集まり、何十人いようが大きな家族という感覚です。一人の問題はみんなの問題として扱います。保育園も同じですけどね。子どもの年齢にあわせて気に掛けていくことを、お母さんだけでなくいろんな人がやっていけばいいと思います。そのためにも、**母親以外の家庭や社会といった単位に対して、知識を広め理解を求めていくことも子育て支援として同時にやっていかなければいけないことの一つです。**

河原 ● 子どもにとっても学童保育の役割は本当に大きいと思います。一人っ子や二人兄弟が多い世代なので、たくさんの仲間何かをされるとか、縦でつながって何かをされるとか、親以外の大人に世話をしてもらおうという『つながる体験』ができる場所になっています。

橘 ● 私達に関わるお母さんの中には、子育てだけを家で一人していると、『他のことができない!』と思いつつ自己評価を下げてしまう方がいます。『子育て広場』でママ友ができたり育児の知識も知って楽になったりすることによって、できることが見つかれば自己評価も上がっていきます。自分とよく似た人と会うことが本当に大切です。そして親が悩みを解消し、笑うことが大切なのです。

河原 ● 親が笑ってないと子どもは笑いませんからね。  
橘 ● 広場で多くの人と出会うことはお母さん達の自立にもつながっています。『広場があつて助かった』と思った人が、スタッフになっていく循環型支援の形ができつつあります。始めは少しの手伝いからやがて子育て広場のスタッフやリーダーになっていくこともありますよ。

### 出産も育児も たくさんの目とたくさんの手で

河原 ● 加賀は産婦人科や、小児科が少ないです。子どもが少ない地域ということもあり、公園や遊具施設も大きなものはなく子育てしにくい環境と言えます。しかし県外から来た方も、「子どもを連れて集まることのできるこの広場があるから加賀市は住みやすい。」と言ってくれるようになったのは嬉しいことです。ランチの時間が一番楽しいですよ(笑)。

橘 ● みんなで一緒に食べるということは、何か心を開く感じになります。母と子だけの食事ではなかなか食べない子どもでも、みんなで食べると自然に食べるようになります。子どもも楽しさは体験しないとわかりませんからね。

河原 ● 子どもの成長を見ながら親同士が育ち合うという、広場本来の役割が見えてすごく嬉しいです。行事に参加した2人のお子さんを持つご夫婦が、3人の子どもを持つ家族を見て3人目の子どもが欲しいと思ったそうです。**広場は少子化対策にも有効だ**と思います。文面や人から聞く話より、実際に肌で感じたものが絶対ですよ。

橘 ● 何かのきっかけで広場に来て、楽しそうな親子を目にし体験すると、子どもに対しての夢が広がります。近くにサポートしてくれる人や場所があることを知っている広場のスタッフは全国的にも出産率が高いですよ。スタッ



子育て支援は日常性、  
当事者性、多様性を  
考えることが必要!(橘)

フでなくても、この広場があったから子どもを産めたというお母さんを一人ずつ増やしていけばすごい数になりますよね。広場は未修園児対象ですが、他にも大きな可能性も秘めています。

**河原** ● 今年の5月から『父ちゃん広場』を始めました。お父さんの来る日を決めると来やすいようですね。また、お年寄りリズム遊びや手遊び、お抹茶のお茶会、伝統料理を教えてもらうなどの交流会も行っています。8月には地元の方と一緒に納涼祭を行います。地物を使って、その空気を吸って、地元のを味わってもらって、そのよさを発信していきます。

**橘** ● 広場は自由度が高く、昔のおじいちゃん、おばあちゃんやいろんな人がいた環境に近い体験ができます。**子どもと社会に対してゆるやかな仕掛けができる場所**が広場です。いろいろ努力していますが、数はまだまだ少ない状況です。環境問題もいろんなことも大事ですが、何がどう整っても人間が壊れたら終わりです。だからまず人間からだと思っています。今子育て支援に関わっている、わりと有名な講師は思春期外来の医師が多いです。思春期外来にいるとはっきりと乳幼児期が大切だというのがわかるのだそうです。乳幼児期にちょっと心がけることで大丈夫なことが

あるようです。思春期外来や精神科の先生が子育て支援に入ってきています。これは予防ですよね。あきらかに**予防が大事**という声があがっています。

## 学生ボランティアの相乗効果

**河原** ● 地元の中学校からボランティアを受け入れてほしいと要請がありました。自分が人の為に役立ち、人から「ありがとう」と言われる機会を与えてもらいたいということでした。ちょうど育児用品のリサイクルを行っていたので商品の値札付けや整理整頓、ショップのレイアウトと、つり銭も預けて接客してもらいました。お母さん達が買い物する間は赤ちゃんを抱っこするなど、とてもいい感じだったのでブログにも載せました。学校の先生からは、「こういう経験を重ねて人のために役立つ喜びを知ることは、社会性を身につける上で大切なこと。」とのお話があり、継続的にボランティアを受け入れ見守っていくことになりました。今度はその中学生に双子ちゃんの遊び相手をしてもらいます。地域でこういうネットワークができていくことがすごく嬉しくて…。

**橘** ● 学生のボランティアは子どもに関わることだから喜んでくれます。中学生でも小学生でもとても意味がある体験です。真面目なお母さんは広場のスタッフにも気をつかうので、**ボランティアの学生がいるほうが気がつかず、お母さんがゆっくりできる**こともあります。私より中学生のほうが、今の若いお母さんと話が合い盛り上がりやすいですね(笑)。そうするとお母さんにも楽しんでもらえます。小さい子も学生ボランティアが入ると機嫌がいいですよ。それに、自信のない学生さんでも上手に導いてあげると案外なんでもできるし、それが喜びになります。「子どもは苦手だけど、また来ていいよ」という学生もいますよ。学生のボランティアを受け入れることで、お母さんにも子どもにも学生さんにも相乗効果を生んでいるなあって感じます。

## つながり、もっとつなげるために

**河原** ● この前も、「こんな場所があるなんて今まで知らなかったし、もっと早く来ればよかった～」というお母さんがいました。4ヶ月検診などでチラシを織り込んで渡しているんだけど、実際は育児に追われて、チラシなどなかなかゆっくり読めないようです。

**橘** ● ひと言「子育て広場っていうのがありますから、利用してみてくださいね。」と声をかけるだけで、随分変わりますよね。

**河原** ● 実際チラシを渡すときに声をかけることによって、



広場に来る人が増えました。求めている人がまだまだたくさんいると感じています。声をかけることは活動をする仲間同士にも必要で、情報を共有していくことはとても大切なことです。

**橘** ● いろんな情報が入ってきたら、せめて自分のネットワークの北陸の仲間とは情報を共有したいと思います。講演を聴いているときも、必要な人に伝えたくてメモをとっています。情報を共有しないとどんどん孤立してしまいます。子育て支援の仲間といつもつながっていることが活動する上でも非常に重要です。

**河原** ● 子育て広場の全国連絡協議会は旬の情報が入ってきます。正直とても手間がかかりますが、大切なことなのですぐに皆さんにお知らせしています。

**橘** ● 現在は、金沢市からの3つの委託事業などで50～60名くらいのスタッフがいますが、**活動の原点をスタッフとシェアすることがとても重要**です。月に一度は事例報告会を行い、失敗談や原点などいろんなことを話し、方向性を確認し合います。たまには外部から専門家を呼び、話を聞く機会を定期的に設けたりもしています。**スタッフの育成のた**

めの研修はすごく重要だと考えています。

**河原** ● スタッフ同士、原点のつながりを強く持って、自分の基本の役割をもっともっと深めていってほしいと思います。

**橘** ● 活動をする中で子育て支援コーディネーターが欠かせませんが、そのコーディネーターがまだまだ育っていません。保育士で所長、主任などを経験した方が研修を受けてそのままコーディネーターになっていますが、他にも地道に活動し、現代的な子育てのノウハウを持ち、信頼があつて人と人をつなげてコーディネーター的な活動をしている人はいます。そのほとんど全てがボランティアです。このままでは残っていかないのではないかと思います。

**河原** ● 次の人を育てていかないと、ここで活動もネットワークも全て途切れてしまいますよね。

**橘** ● 次のコーディネーターの育成と、コーディネーターとして活動しやすい環境を作っていくしないと、今の活動自体を続けていくことができなくなってしまいます。これからの社会全体のためにもコーディネーター育成と活動の環境整備にみんなが協力して欲しいと思います。



辛い思いをする  
お母さんを加賀市では  
絶対に出不さない！

(河原)



## PROFILE



**橘 薫さん**(たちばな かおる)  
双子を生み育てているうちに、サークルの必要性を感じ、多胎児サークル「風っ子KIDS」を立ち上げる。その他、「育児サークルネットワークかなざわ」のアドバイザー、いしかわ市民活動ネットワークセンター理事、子育て広場全国連絡協議会理事を務めるなど、子育て支援活動に幅広く活躍。

### 【お問い合わせ】

〒920 - 0856  
石川県金沢市木ノ新保町1-1  
TEL&FAX 076-260-5155  
E-mail kazegumi@io.ocn.jp

## PROFILE



**河原 廣子さん**(かわはら ひろこ)  
加賀市で、21世紀職業財団の「保育サポーター養成講座」受講。受講生仲間と平成14年10月より「保育サポータークラブ」を立ち上げる。NPO法人かもママ理事長を務めるかわら、行政・メディアにも協力を働きかけ、平成16年7月「親子集いの広場まんま」の運営をはじめる。

### 【お問い合わせ】親子ほっとステーション

〒922 - 0132  
石川県加賀市山中温泉中津原町ハ5-1  
TEL&FAX 0761-78-4747  
E-mail info@kamomama.com  
URL http://kamomama.com

## NPO法人 趣都金澤

〒920-0993 金沢市下本多町6番丁40-1  
TEL 090-2377-6400  
E-mail syuto-info@uraken.co.jp

### 設立の経緯

金沢は歴史・伝統・文化などの蓄積があり、行政や各種団体が文化芸術を軸とした様々な施策や取り組みを行っています。今後更に文化を経済に落とす力を備えた「文化経済都市」として発展するには、民間によるまちづくりを牽引し、また、様々な文化事業を結びつけるプラットフォーム的なNPOが必要ではないか？私達のNPOはそんな発想から産声をあげました。

### 活動の内容

一昨年秋より任意のまちづくりNPOとして動きだし、昨年10月に法人認証された若い団体ですが、経済人や学識者、まちづくりNPOの方々、行政関係の方、そしてまちづくりに興味をもつ市民の方々など、既に100名近くの会員がいます。活動のペースは月に1回、会員が誰でも参加できる「協議会」で、そこで様々な事業構築について意見交換をします。会員各々が地域のためにどのような事業や活動が必要かを考えることを大切に、そこから様々な議論を経て事業が生み出されます。昨年度は、設立フォーラムを皮切りに、多彩な講師を招いてのまちづくり勉強会「趣都ミニフォーラム」を計7回、秋には独自事業の「月見宴」を行いました。この「月見宴」は、金沢工業大学が中心となり広坂県庁跡地周辺で毎秋繰り広げられる光



「あかりトーク」石浦神社にて

アートの祭典「月見光路」と同日開催の事業で、その光アートを背に金沢ゆかりのアーティストによる野外演奏会「ひかりコンサート」、地元食材にこだわった飲食ブース「つきみカフェ」、北陸からのあかり発信をテーマとしたトークショー「あかりトーク」などを開催しました。2日間で1万人超の人出があり、様々な団体との連携により高次なまちづくりを目指す我々にとって価値ある事業となりました。本年度は、先般5月10日に趣都フォーラム2008を開催し、昨年度より我々があたためた政策提言の発表とともに、「北陸発、新しいアートポリスのカタチ」と題し、秋元雄史金沢21世紀美術館長・伊東順二富山大学芸術文化学部教授の対談を行い、スタートしました。継続事業「月見宴」、趣都塾(趣都ミニフォーラムの改称)はもちろん、新しい事業も企画しております。事業の参加、私どものNPOへの入会や連携事業の企画提案なども是非お待ちしております。



野外演奏会「ひかりコンサート」

### ■収入額の構成

- |         |         |       |        |
|---------|---------|-------|--------|
| ①寄付金    | (0%)    | ④助成金  | (0%)   |
| ②会費     | (50.2%) | ⑤受託事業 | (0%)   |
| ③自主事業収入 | (48.6%) | ⑥その他  | (1.1%) |

## NPO法人 環境浄化微生物研究所

〒920-0204 金沢市千田町へ8-3  
TEL 076-258-0812 FAX076-257-6598  
E-mail biosystem@lake.ocn.ne.jp

### 設立の経緯

理事長の南部外茂治博士がダイオキシン汚染を始めとする環境問題を憂慮し、自身が50年ほど前に創り上げ、長年多方面で活用されたきた「TN菌」による「環境の修復」を掲げ、NPO法人を6年前に設立。理事長は現在、フィリピン国立ミンダナオ大学名誉副学長、マニラ市立総合大学客員教授に任命され、外国人としては初めての栄誉ある「模範的フィリピン人賞」を授与いたしました。また、国立ミンダナオ大学より環境科学博士号、EARIST(科学技術大学)より生物工学博士号を得ております。

### 活動の内容

食品廃棄物をTN菌(酵母)で分解し大幅に減量処理したり、堆肥化する取り組みを主にフィリピンで進めています。また、国内ではキノコ栽培の廃培地の堆肥化に取り組んでいるところです。

フィリピンでは法律でゴミの焼却処理が禁止されておりますので、私共はマニラ首都圏及びその近隣で、ゴミを減量する実証実験を実施してまいりました。「短期間での大幅な減量」をいう結果を示し大変注目され、さらに河川・湖沼の水質浄化や、アオコの除去等に対する活用も期待されております。フィリピン政府の官房長官、マニラ首都圏開発庁議長、環境天然資源省長官、またマニラ市長、ケソン市長、リサール州・ラグナ州の各知事等と会談したところ、JICAを活用した「TNテクノロジー」のフィリピン導入に大きな期待を示しておりました。

国内ではキノコ生産者、特にエノキ・シメジの廃培地の超短期間(2~3日)での堆肥化を実現し、現在はその堆肥を使った野菜の栽培実験を行っております。今後は幅広い農業由来の廃棄物の堆肥化にも取り組んでいくつもりです。



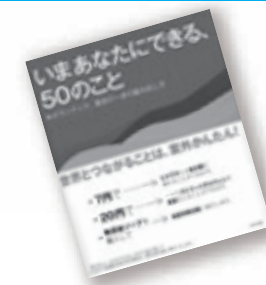
左から3人目が環境天然資源省レイエス長官。右隣が南部理事長

### ■収入額の構成

- |         |        |       |      |
|---------|--------|-------|------|
| ①寄付金    | (100%) | ④助成金  | (0%) |
| ②会費     | (0%)   | ⑤受託事業 | (0%) |
| ③自主事業収入 | (0%)   | ⑥その他  | (0%) |

## 書籍

## 新刊本・おすすめ本 紹介コーナー



いまあなたにできる、50のこと  
～ボランティア、最初の一步の踏み出し方

編者 : WAVE出版  
発行年月日: 2006年7月19日  
定価1,260円(本体1,200円+税)

●例えば、7円でヒマラヤに樹を1本植えられます。20円でストリートチルドレンが昼食を食べられます。少しのお金・時間・余ったモノが誰かの役に立つ。ボランティア最初の一步をナビゲートするビジュアルガイドブックです。



### NPO実践講座 新版

編著者名 : 山岡義典、雨宮孝子/共著  
発行年月日: 2008年3月10日  
定価2,200円(本体2,095円+税)

●2000~2003年にかけて発刊した「NPO実践講座」シリーズの内容をまとめ、最新の制度解説を加えて発刊するものです。NPO運営における実践的なポイントをまとめた、関係者必携の決定版です。



### NPO・市民活動のための助成金応募ガイド2008

編集発行 : 財団法人 助成財団センター  
発行年月日: 2008年4月7日  
定価2,000円(本体1,905円+税)



石川県NPO活動支援センターでは、NPO・ボランティアに関する様々な書籍を閲覧・貸出しています。

## 七尾音泉感動協会

### 『音楽のちからで店を楽しく・街を楽しく!!』

ボイラー長(会長) 伊藤昇さん

#### 自分達が楽しむ『まちづくり』

『街の中を楽しく、活気あるものにしたい。』という思いがありましたね。人と街、人とお店がつながることで、みんな良くなると。」そう語るのは、七尾音泉感動協会ボイラー長(会長)の伊藤昇さん。

温泉といえば「ボイラー」＝「湯沸かし」つまり、「沸かし役」を自ら名乗り、時には演奏もこなす伊藤さんは、美容室のオーナーでもある。

音楽好きを活かして、まちのために何かできることはないかと、『七尾音泉感動協会』を発足したのは2006年(平成18年)秋。



美容室を会場に、お客様を招いての弦楽三重奏  
(向かって右が伊藤昇さん)

まだ、2年足らずだが、自分達(オルビスNANAQ)のグループコンサート開催をはじめ、県内外からのアーティスト参加型コンサート開催も数多くこなしている。「僕らは、お店と出演者とのつなぎです。主催はあくまでもお店側、協会は後援なんです。後ろから、肩をポンっ!と押す感じで」発足以来、経営者賛同&参加型のイベントを続けてきた。

「ひと言で『まちづくり』と言っても、実際そのために活動するのは大変なこと。以前は、『まちづくり』活動のためにお店を休んでまで参加する人がいたり、それっておかしいことですよね。お店休むってことはその分売り上げも減るわけで、そして売り上げも伸びないから自分自身もだんだん疲れてしまう・・・という悪循環。そういう活動は『まちづくり』とは

言わないと思うんです。やっぱり、参加する自分達が楽しんで、みんなも(お店も、お客さんも)楽しんでできることが一番いいと・・・」

お店を活かしてできること。そしてお客さんをお店に呼べること。そして何より、自分達が楽しむことが『まちづくり』のポイントとなるようだ。

#### 主催はお店側、協会は後援部隊

「お店は貸すから、何かやって〜」では店づくりにも、まちづくりにもつながらない。やはり、自己責任のもと運営してもらわないと。店づくりから『まちづくり』へとつながっていく過程を大事にする伊藤さんの思いが伝わる。会場となったお店も様々で、花屋さん、焼き肉屋さん、銀行ロビーなど・・・

そして、コンサートで欠かかせないイベントの目玉がお楽しみ抽選会。主催となったお店からのプレゼントだったり、お店で使える商品券だったり、お客様とお店をつなげるため、次回来店を狙う仕掛けにも怠りない。「なんと言っても、お客さんがお店に足を運んでもらうことから始まりますから。」



同じく、美容室でのボサノヴァミニライブ

「この活動をはじめから、人と人がつながっていく楽しさも味わいましたし、『まちづくり』ももっともっと広がっていくのが楽しみ。」と熱く語る、伊藤さんでした。

七尾音泉感動協会 事務局 (情報処しるべ蔵内)  
〒926-0084 七尾市檜物町57番地10  
TEL0767-52-1231 FAX0767-52-1231



#### 掲載情報募集のお知らせ

県内のNPO・ボランティア団体の活動情報を発信するコーナー「いしかわのNPO」

を設けています。団体の活動の情報を発信する場として、ぜひご利用いただければと思います。

- 掲載参考項目
- 団体名、団体住所、電話番号、FAX、E-mail、URL
- 設立の経緯、活動内容(必ずご記入ください)会費、利用料金、困っていること、アピールしたいこと等※600～800字程度にまとめて下さい。
- 掲載料/無料 ●寄稿方法/郵送、FAX、メール等いずれも可
- その他/活動風景などの写真も併せて送付いただければと思います。(電子データ可)
- 送り先/〒920-0962 金沢市広坂2-1-1 石川県広坂庁舎2号館2階  
石川県NPO活動支援センター 担当/長谷川  
TEL076-223-9558 FAX076-223-9559 E-mail npo@pref.ishikawa.lg.jp

## シリーズ NPO 会議術 ① 『何のための会議なの?』

川への祈り実行委員会事務局 森山奈美

#### ◆ レンガ積のはなし ◆

有名な話で「レンガを積んでいる三人の男」というのがあります。ある旅人が、レンガを積んでいる三人に「あなたは何をしているんですか?」と聞きました。一人目の男は、つまならそうに「見れば分かるでしょう。レンガを積んでいるのさ。」と答えます。二人目の男は、淡々と「僕は壁を作っています。毎日同じ事の繰り返しですけど、妻子を養うためだからね。」と答えます。三人目の男は、目を輝かせて「僕は城を造っているのです。この城が、国を守るためにとても大切なんだ。」と答えます。

どの人がモチベーションを高く持ちながら、生き生きとした仕事ができるか。明白です。NPOの運営も同じです。日々の理事会や打ち合わせ、事業をこなすことに追われて、自分たちのNPOがどのようなミッションを持ち、社会を変えていこうとしているのか、ついつい忘れがちではないでしょうか。



#### ◆ 参加のデザイン3要素 ◆

会議をするためには、参加をデザインすることが大切です。ここで「参加のデザイン3要素」をご紹介します。

参加の構成デザイン	その会議に誰が参加するべきかを決め、その呼びかけ方法をデザインします。あとの2つのデザインがどんなに優れていても、参加の構成デザインができていなければ会議は無意味となります。
参加のプロセスデザイン	複数回の会議を通して、どのような成果を出したいのか、当面の目標に向けたスケジュールと各会議の目標を計画します。関係機関との調整や広報のタイミングなども含みます。
参加のプログラムデザイン	各回の会議で何を決め、どのような手順で会議を進めるかを計画し、会場のレイアウトや準備物、成果物などをデザインします。楽しく意見の言いやすい雰囲気重視したプログラムを作ります。

これらの参加のデザインは、NPOに限らず、さまざまな組織や参加の場に応用できます。会議がうまくいかない、プロジェクトがうまく進まないという時は、この3要素に立ち返ってみると良いでしょう。このシリーズでは、主に参加のプログラムデザインに注目して、NPOに不可欠な「会議」を実のあるものにするヒントを考えていきます。

#### ◆ 会議の目的と目標を共有しよう ◆

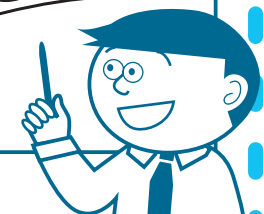
NPOで開催される会議には、総会や理事会、事務局会議のほか、ボランティアの皆さんとの打ち合わせ、関係機関との調整会議などがあります。あるいは地域の方々と共に議論をするという場面もあるかもしれません。会議の種類にかかわらず、その会議が「何のために開催されるのか」を分かりやすく示すことは、とても大切なことです。

私は、会議の最初にプロジェクトの目的と今回の会議の目標を確認してから進めることを心がけています。皆さんの目につくところに板書をしたり、配布する資料の中に明記したりします。「そんなことは分かっている」と言われるかもしれ

ませんが、丁寧にこれを確認していくことで会議に参加する人々は、今日の会議が何のために行われているのかを共有することができます。さらに、会議の中ではNPOが忘れてはならない「ミッション」をいつも意識することが重要なのです。

NPOの会議は、「私たちは城をつくっているんだ」ということを常に見据えながら、議論を進めたいものです。

#### 目的と目標



# INFORMATION

## 県からのお知らせ

### 『NPO Day』のお知らせ

石川県NPO活動支援センターでは毎週水曜日夜NPO活動、ボランティア活動に関するさまざまなセミナー、サロンを開催しています。

#### ●NPOプチセミナー

NPO活動の実践者が語ります。事例をネタに参加者交流!

- 開催時間 18:30～21:00
- 定員 各セミナー20名(参加費/無料)
- 内容

- 「震災復興へ参加!」…平成20年8月27日(水)  
講師/谷内 博史氏(能登復興いやさかフォーラム)
- 「未来へのまちづくり!」…平成20年10月29日(水)  
講師/浦 淳氏(趣都金澤)
- 「学生だってがんばる!」…平成20年12月17日(水)  
講師/白石 真理恵氏(コネックス)
- 「子どもたちに生きる力を!」…平成21年2月25日(水)  
講師/成田 裕氏(ギア自然学校)

#### ●NPOお役立ちセミナー

NPO運営についての基礎知識満載!! 設立から運営まで日々の活動にお役立ち!

- 開催時間 18:30～21:00
  - 定員 各セミナー20名(参加費/無料)
  - 内容
- 「NPO立ち上げ・運営などの基礎知識」…平成20年7月30日(水)
  - 「広報の方法、企業・行政との協働について」…平成20年9月24日(水)
  - 「NPOの会計・税務について」…平成20年11月26日(水)
  - 「NPOの労務・法務について」…平成21年1月28日(水)
  - 「活動資金の調達について」…平成21年3月18日(水)

#### ●NPOよろずサロン

ボランティア、NPOについて何でも相談して下さい!

- 開催時期 平成20年3月25日(水)まで  
(毎週水曜日 18:30～21:00)

**お申し込み  
お問い合わせ**

**NPO法人いしかわ市民活動ネットワーク  
キングセンター(i-ねっと)**  
〒920-0865 金沢市長町1-3-40  
TEL 076-232-6673 FAX 076-232-6674  
E-mail mail@ishikawanpo-inet.jp

## 災害ボランティア養成講座 開催業務の企画案募集!

#### ●事業の概要

災害ボランティアへの理解を深め、災害ボランティア活動の推進につなげるため開催する「災害ボランティア養成講座」の開催業務の企画案を募集します。

- 公募する事業
- 災害ボランティア養成講座開催業務。企画案は下記の基準を満たした事業であることが条件です。
- (1) 加賀地区、金沢地区、能登地区の3会場で開催する。
  - (2) 平成21年1月15日～21日の「防災とボランティア週間」に、3地区のうち、いずれかを開催する。
  - (3) 講習会のみではなく、災害ボランティアに関する野外の実地研修を行う。(例:災害ボランティア受付・災害救助等)

- 応募対象 県内の災害ボランティア団体又はNPO法人  
※複数のグループで構成する実行委員会の形式でも可
- 募集期間 平成20年7月30日(水)まで
- 災害ボランティア養成講座開催経費  
3地区合計で40万円を限度とします。(消費税を含む)

**お申し込み  
お問い合わせ**

**(財)石川県県民ボランティアセンター事務局**  
〒920-8580 金沢市広坂2-1-1  
TEL 076-223-9558 FAX 076-223-9559  
URL <http://www.ishikawa-npo.jp/volunteer/index.html> (担当:湊)

## ボランティア交流会 開催業務の企画案募集!

#### ●事業の概要

ボランティア同士が、ボランティア活動を進めるためのノウハウ課題解決のための意見交換、活動体験等を通じて、ボランティアのネットワークづくりや、自己啓発につなげることを目的に県内1ヶ所で開催する「ボランティア交流会」の開催業務の企画案を募集します。

- 公募する事業
- ボランティア交流会開催業務。企画案は下記の基準を満たした事業であることが条件です。
- (1) 交流会の形式は、課題解決のための「リーダー研修会」と活動体験等の「交流会」の2部構成とする。
  - (2) ボランティア団体同士が、ネットワークを築くことのできる事業であること。
  - (3) 参加した団体が、自らの活動をより発展させるきっかけや課題を解決するヒントになるような事業であること。

- 応募対象 県内の市民活動団体、ボランティア団体又はNPO法人  
※複数のグループで構成する実行委員会の形式でも可
- 募集期間 平成20年7月30日(水)まで
- 委託費 50万円を限度とします。(消費税を含む)

**お申し込み  
お問い合わせ**

**(財)石川県県民ボランティアセンター事務局**  
〒920-8580 金沢市広坂2-1-1  
TEL 076-223-9558 FAX 076-223-9559  
URL <http://www.ishikawa-npo.jp/volunteer/index.html> (担当:湊)

## NPO ボランティア情報

石川県社会福祉協議会ボランティアセンターでは、書き損じハガキや使用済みのインクジェットカートリッジを集めています。書き損じた年賀ハガキや年賀状づくりで空になったインクジェットカートリッジを役立ててみませんか。

- 収集物
- ①年賀状や暑中見舞いなどで、使えなくなった郵便ハガキ、書き損じた郵便ハガキ(消印のないもの)
  - ②未使用切手
  - ③使用済みインクジェットカートリッジ  
対象メーカー:Canon、EPSON(リサイクル品は対象外)
- 収集方法
- ①石川県社会福祉協議会ボランティアセンター前の回収箱へ投函
  - ②石川県社会福祉協議会ボランティアセンターへの郵送
- 活用方法
- ①書き損じハガキ、未使用切手  
郵便局で未使用切手の交換し、県内の福祉団体に寄贈します。
  - ②使用済みインクジェットカートリッジ

ボランティア活動振興基金への積み立て、県内の福祉ボランティア活動充実に用います。

使用済みインクジェットカートリッジの回収箱を設置していただける施設や事業所、店舗も募集しています。ご協力いただける方の連絡をお待ちしています。

**お申し込み  
お問い合わせ**

**石川県社会福祉協議会ボランティアセンター**  
〒920-8557 金沢市本多町3-1-10  
TEL 076-234-1616 FAX 076-222-8900  
E-mail [ivc@isk-shakyo.or.jp](mailto:ivc@isk-shakyo.or.jp)  
URL <http://isk-shakyo.or.jp/volunteer/>

## 助成金情報

### ボランティアに関する講習会等助成事業

- 助成対象事業
- 下記の要件を満たすボランティアに関する講習会等。
- ・県内のボランティアグループ等が主催するもの。
  - ・ボランティア精神の普及や団体等におけるボランティア活動の充実、発展に寄与するもの。
  - ・10人以上の参加者が見込まれるもの。
  - ・参加者から参加費を徴収しないもの。また、徴収金額が必要最小限と認められるもの。
  - ・政治活動や宗教活動を目的としないもの。
  - ・不当な参加資格を設けていないもの。
- 助成対象経費
- ・講習会等において指導等を行う外部講師(団体の構成員等ではないということです。)の謝金及び交通費
- 助成対象額
- ・講師謝金については原則として石川県の予算単価に準じた額、交通費については実費相当額とし、助成金の総額は5万円以内
- 助成金の交付
- ・予算の範囲内で行います。また、同一事業年度内においては、1団体1回限りとします。
- 助成金の交付申請
- ・所定の申請書に必要書類を添付し提出します。
- ※この助成金を受ける際は、必ず事前相談を行うこと。  
※その他、詳細については下記までお問い合わせください。

**お申し込み  
お問い合わせ**

**(財)石川県県民ボランティアセンター事務局**  
〒920-8580 金沢市広坂2-1-1  
TEL 076-223-9558 FAX 076-223-9559  
URL <http://www.ishikawa-npo.jp/volunteer/index.html> (担当:湊)

### 日本財団 福祉車両助成事業

- 助成対象事業
- 申請車両によって次の4事業となります。
- ・車いす対応車(軽自動車)の整備
  - ・車いす対応車(普通車)の整備
  - ・送迎車(軽自動車)の整備
  - ・送迎車(普通車)の整備
- 助成対象団体
- ・特定非営利活動法人・任意団体で、社会福祉に係る事業を行うもの
- 助成対象車両



●本誌の企画を行う「いしかわNPOニュース」企画委員会の今年度の委員は、次の皆さんにお引き受けいただきました。

青海 康男(特) NPO法人 いしかわ市民活動ネットワークキングセンター)

福田 唯(自分をみつめるママの会 Snigel m.)

森山 奈美(川への折り実行委員会)

久保 信二郎(特) NPO法人 こまつNPOセンター)

- ①「2008年度 設定車両一覧表(特定非営利活動法人/任意団体用)」より、ご希望の車種をお選び下さい。
  - ②1年度につき、1団体1台の申請に限ります。複数台の申請があっても認められません。
  - ③希望車両の選定には車両カタログを参考にいただき、車両に関して不明な点がある場合は、「日本財団福祉車両について」と前置きをしたうえで、「車両メーカー連絡先」へ直接お問い合わせ下さい。
- ※カタログに記載されている内容は2008年6月現在のもので、モデルチェンジ等により予告なく変更されることがありますのであらかじめご了承下さい。(設定車両そのものの変更はありません。)
- ④当財団にて指定された装備以外に団体の皆様が独自で装備(オプション)を追加することはできますが、追加注文にかかる費用は全額皆様の自己負担となります。

- 申請受付期間
- インターネットによる申請は、6月2日(月)～7月31日(木)です。

**お申し込み  
お問い合わせ**

**日本財団 車両チーム**  
TEL 03-6229-5163  
●9:00～17:00(土・日・祝日除く)  
FAX 03-6229-5169  
URL [http://www.nippon-foundation.or.jp/kyotu\\_site/sharyo/youkou\\_b.html](http://www.nippon-foundation.or.jp/kyotu_site/sharyo/youkou_b.html)

### Panasonic NPOサポートファンド

子どもたちの健やかな育ちを応援するNPOの組織基盤強化に資する事業及び、環境問題に取り組むNPOの組織基盤強化に資する事業を応援します。

- 助成対象団体
- 環境問題に取り組むNPO、子どもたちの健やかな育ちを応援するNPOに対し、法人格の有無を問わず、日本国内に事務所をもつ団体
- 助成対象事業
- NPOの組織の基盤強化に資する事業
- 助成事業期間
- 平成21年1月1日～平成21年12月31日の間に実施、終了するもの
- 助成額
- 1団体上限150万円、総額は各分野1,500万円
- 応募受付期間
- 平成20年7月18日(金)～7月31日(木)
- 応募方法
- 松下電器のホームページよりダウンロードできます。  
<http://panasonic.co.jp/cca/pnsf>

**お申し込み  
お問い合わせ**

**【環境分野】**  
特定非営利活動法人地球と未来の環境基金  
〒101-0041 東京都千代田区神田須田町1-5  
新須田町共同ビル2F  
TEL 03-5298-6644 FAX 03-5298-6635  
URL <http://www.eco-future.net>  
E-mail [eff-spf@eco-future.net](mailto:eff-spf@eco-future.net)

**【子ども分野】**  
特定非営利活動法人市民社会創造ファンド  
〒100-0004 東京都千代田区大手町2-2-1  
新大手町ビル267-B  
TEL 03-3519-1221 FAX 03-3510-1222  
URL <http://www.civilfund.org>  
E-mail [kodomo@civilfund.org](mailto:kodomo@civilfund.org)

●本誌に関するご意見、ご要望をお寄せください。お寄せいただいたご意見は、制作に生かすほか、本誌に掲載してまいりたいと考えています

### 石川県NPO活動支援センター

〒920-0962 金沢市広坂2-1-1  
石川県広坂庁舎2号館2階  
TEL 076-223-9558 FAX 076-223-9559

URL <http://www.ishikawa-npo.jp>  
E-mail [npo@pref.ishikawa.lg.jp](mailto:npo@pref.ishikawa.lg.jp)



今期から石川県内で、活動中の子供たちを取り上げシリーズ化。ジュニア VOICE として紹介していきます。

今回は、「石川県立七尾東雲高等学校 ボランティア委員会」の皆さんと担当の田畑正村先生にお話をうかがいました。

## ボランティアの輪が広がってくれば

### 生徒会に働きかけ 委員会として発足し活動する

— 生徒会の中にボランティア委員会を設けるというのはめずらしいのでは？

**田畑先生** ●以前はボランティア同好会というものがありましたが、活動がほとんど続かない状況でした。生徒からの声を集めると「情報を知らない」「部活動ができなくなる」「活動中の事故が心配」ということがわかりました。そこで、生徒会に働きかけ、各クラス2名のボランティア委員を選出、ボランティア活動のチラシを配布、ボランティア保険にも加入し、去年は654名がボランティア活動



七尾駅前での募金活動を行うボランティア委員会のメンバー

### プランターに植える 花は自分達が種から育てる

— いままで、どのような活動をされてきたのですか？

**出村さん** ●私は、今年から参加しているのですが、今回の中国四川省義援金募金は3回目で、七尾駅前、パトリア入り口、パトリア4F駐車場入り口の3カ所で行ってきました。他には4月に徳田駅前で挨拶運動をしたり、5月の連休前に町会と連携して、花壇の整備をしたりしました。

**村田さん** ●私も今年から委員会に入りましたが、つばさ(知的障害者複合施設)のバザーでレジの袋詰めのお手伝いをしてきました。

**広山君** ●先日、能登半島地震で被災され、仮設住宅に住んでいらっしゃるご家庭にプランターのお花の植え替えに行きました。仮設住宅の方々は思っていたより元気で、ほっとしました。お花の植え替えも喜んでもらえてよかったです。

**小山君** ●そのお花も自分たちで種から育て、プランターに植えて応援メッセージを添えたりしました。あとは、学校の美化運動で、プランターを使って通学路に階段花壇を設置しました。



ボランティア委員会  
委員長の出村朋子さん(左)と副委員長の村田桃子さん

### 金額より募金に 協力してくれることがうれしい

— 今回の四川大地震で募金活動をされて、どのような感じましたか？

**出村さん** ●能登半島地震の時にはいろいろな方にお世話になったと思うし、四川省大地震では私たちができることでお返しができたらと思い募金活動を始めました。始めはなんとなく恥ずかしくて、大きな声も出せませんでした。募金に協力してくれる人がたくさんいてうれしかったです。

**村田さん** ●やっぱり募金してくれる人がいたらうれしいと思うし、金額より募金に協力してくれることがうれしい。

**広山君** ●今までは、募金する人と目を合わせないようにして通っていたのですが、これからは、避けずにちゃんと募金します。

### 生徒会に働きかけ 委員会として発足し活動する

— 募金活動以外で他にアピールしたいことは？

**田畑先生** ●生徒が積極的に参加して、もっともっとボランティアの輪が広がってくればいいなあと思いますね。子供たちもボランティア活動することで、いろいろ体験でき、成長できると思っています。温かく見守っていてほしいですね。

出村さんと村田さん ●私たちが頑張っています。応援よろしくお願いします。あと、やっぱりボランティアが広がってくればうれしいです。

